

平成29年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月日実施)	総合評価(月日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	①確かな学力の向上のための取組を充実させ、組織的な授業改善を推進する。 ②農業に関する専門性向上を図る教育を充実させる。	①学習意欲を高め学力を定着・向上させる教育課程の編成や組織的な授業改善に取り組む。 ②生徒会、農業クラブ等の活動を活性化させる。	①授業におけるICTの活用に関する研修会を実施しアクティブラーニングを推進する。 ②組織的な授業改善に取り組み、授業時間数の確保とともに、生徒の基礎学力向上を図る。 ③生徒会・部活動や農業クラブの発表会等への参加を進める。	①授業におけるICTの活用における成果に基づいた授業を各教科、学科で実践したか。 ②学校評価アンケートにおける生徒の肯定的回答が50%以上となったか。 ③県大会以上の出場ができたか。					
2 生徒 指導・ 支援	①豊かな人間性や社会性を培う個に応じた生徒指導・支援体制の充実を図る。 ②インクルーシブな学校づくりを推進する	①生徒一人ひとりの個に応じた生徒指導、教育相談を充実させる。 ②えびな支援学校と連携した教育活動を推進する。	①学校生活アンケートによって生徒の状況を把握し、支援体制に結びつける。また、スクールカウンセラー等外部との連携を深めた支援を行う。 ②えびな支援学校との連携事業を進める。	①アンケートを年2回実施し、生徒の支援に活用できたか。また、スクールカウンセラー等を活用した支援を実施したか。 ②えびな支援学校との連携活動ができたか。					
3 進路 指導・ 支援	①体験的学習を重視し、勤労観・職業観を育成し、進路指導の充実を図る。 ②社会的自立に向けた教育の充実に取り組む。	①勤労観・職業観を育成するため、産業界等と連携した体験的な学習の充実を図る。 ②生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現を図る。	①インターンシップ、デュアルシステム等の活動を充実させる。 ②「キャリア教育実践プログラム」に基づいたキャリア教育を推進する。 ③進路説明会を定期的に行うとともに、個別指導も並行して行う。	①農業体験やインターンシップ、デュアルシステム等の参加者が充実した活動を行うことができたか。 ②「キャリア教育実践プログラム」を計画通り実施できたか。 ③進路実現に向けた指導が十分にできたか。					
4 地域 等と 協働	①地域や関係機関等との連携・協働による学校づくりを推進する。	①学校の特徴を生かした地域活動に取り組む。 ②地域や関係機関等と連携した学習活動の教育プログラムの開発を進める。	①生徒会や農業クラブ・委員会等による地域との連携・協働活動を充実させることにより、開かれた学校づくりを推進する。 ②コンソーシアム地域事業において、これまでの取組みについて整理を行い、生徒の学びの機会を広げる環境整備を進める。	①地域との協働活動、貢献活動、行事への参加等の連携ができたか。また、地域へ開かれた農場、農業学習の拠点として活動できたか。 ②コンソーシアムの目標設定および具体的な手立てを整理したか。					
5 学校 管理 学校 運営	①すべての職員が組織的に学校運営に取り組む。 ②地域から信頼される学校づくりを推進する。	①事故・不祥事の防止を徹底し、地域から信頼される学校づくりに取り組む。 ②安全、安心で快適な教育環境の整備を推進する。	①OJTの計画的・組織的展開により事故・不祥事防止に向けた職員の実践力の向上を図る。 ②HPの更新を積極的に行い、スマホ等の携帯端末に対応したHPを作成する。 ③施設等の定期的な点検を実施し、安全・安心な校内環境の整備を行う。	①OJTの計画的・組織的展開により、事故・不祥事ゼロを達成できたか。 ②携帯端末対応版が作成できたか。また、HPの更新が適切に行えたか。 ③安全・安心な校内環境の整備が行えたか。					